

自分らしさを輝かせる、あたたかな学びの場

彦根市	活動名：水曜放課後学習会	東中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：図書室		開始年度：平成26年度	
年間開催日数：25日(開催ペース：週1日)		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：24人		学習支援員等 平均人数：5人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

毎週水曜日の放課後の時間を利用して、生徒たちが自主的に学習できる場を提供する。基礎でつまづいている生徒には、学習支援ボランティアが寄り添い、学力を向上させる。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

生徒の自主性を尊重し、生徒が決めたことをやり遂げられるような支援を心がけた。「東中学校区地域学校協働本部」が主体となり、学校と相談しながら開催した。本部が作成したチラシを3年生の生徒に配布、保護者にtetoru配信し、参加を募った。部活動引退後の生徒が参加しやすいよう前期・後期制にし、後期は改めて参加者を募った。学習会後に、学習支援ボランティアから生徒一人一人のファイルにコメントを記入していただくことが、学びの振り返りや励ましにつながった。



【 学習会後のコメント記入時の様子 】

■ 事業の成果と今後の展望

個々の生徒の学力向上はもちろん、学習支援ボランティアによる丁寧な関わりが、受験期に不安定になりがちな生徒の心の支えとなった。今後は、地域の教育資源や人材を活用し、学校・家庭・地域が一体となった学習支援体制を構築することで、生徒たちが安心して学べる環境をさらに充実させていきたい。

■ その他

地域学校協働活動推進員が学習支援ボランティアをうまくコーディネートし、大変スムーズに運営が進んでいるが、学習支援員の高齢化が進み、今後、人材を確保することが難しくなることが懸念される。

報告書記入者(教頭)

それぞれの「〇〇したい！」にあった支援で、学力アップ！

彦根市	活動名：くろがねもち教室	城東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室		開始年度：令和4年度	
年間開催日数：2日(開催ペース：夏季休業中)		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：32人/1日		学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

3年生以上を対象とし、国語、算数の基礎的・基本的な学習内容の定着を目指す。夏季休業終盤の2日間、8時30分から実施。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1学期の学習状況を参考に、個々の課題に応じた問題等を準備し、取り組む。各学年2~3人体制で指導に当たり、それぞれの困り感に寄り添った個別の指導・支援を基本とする。



【 個別に指導を受けている様子 】

■ 事業の成果と今後の展望

友だち同士で話をしたりせず、自分の課題に集中して取り組むことができた。日頃から支援員としてかかわってくださっていたり、卒業生で教員を目指して教育実習生やチューターとして支援に来ている学生に指導を依頼したりすることで、子どもたちもよく知っている人なので安心して聞くことができた。それぞれが自分の課題を持ち寄り、「わかるようになりたい」という思いをもって参加することができ、全学期の学習の準備にもなり、効果的だった。

報告書記入者(教頭)

個に応じた学習支援 ～地域で育てる 佐和山っ子～

彦根市	活動名： さわやま教室	佐和山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：14日(開催ペース：月2～3日)		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：15人		学習支援員等 平均人数：5人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

佐和山小学校高学年児童で、主に算数科で学年相当の学習に苦手意識がある児童を対象に、学力の向上を目指して学力補充を行っている。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援

学習進度に合わせて予習・復習を行い、学年別に担当する学習支援員を大まかに決め、できるだけ同じ支援員が指導・支援にあたるようにしたことで、児童が安心して分からないところを聞ける関係を構築することができた。

最初の10分程度は宿題等に取り組み、分からないところを質問する時間とした。そして、次の5分を100マス計算の時間とすることで、学習に取り掛かりやすい雰囲気となった。また、終盤には振り返りを記入する時間を設け、学習に対する意欲や理解を深めることにつながった。

■ 事業の成果と今後の展望

高学年の希望者を対象としている。学期ごとに参加希望者を募り、保護者と担任で話し合って参加日程を決めている。昨年参加した児童が今年度も申し込み、積極的に学習に取り組んでいる。授業の予習・復習を本教室で行うことで、学習の楽しさや「わかる」「できる」という喜びを実感し、それが日々の授業への意欲にもつながっている。

今後の課題として、学習支援員の人材確保の難しさがあげられる。昨年度からの継続で確保できているところはあるが、少人数での個別支援という学習形態を続けていくためにも人材確保が必須である。

報告書記入者(学ぶ力向上推進リーダー)

「進路を拓く学力向上推進活動」来たれ！地域未来塾

彦根市	活動名： 学力補充教室	西中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：被服室		開始年度：平成26年度	
年間開催日数：14日(開催ペース：週・月2日)		地域学校協働活動推進員数：2人(兼務1人)	
平均参加人数：10人		学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

学力補充を目的とした学習教室を開催した。放課後の時間を活用して学習支援員が個別の学習指導を行った。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

地域住民であり元教職員の学習支援員を動員し、豊富な経験と高い指導力を生かして生徒の学力向上を図った。

仲間や学習支援員の助言をもとに各自が学習課題を自身で準備することで、生徒の目的意識を明確にした。

全学年を対象にして、自主的に取り組める希望者を募り実施した。

異学年間の交流の場面を想定した学習会を実施し、未来の自分をイメージできる学習環境の設定を行った。

■ 事業の成果と今後の展望

困り感に寄り添った学習支援のあり方により、個に応じた学習支援が実施でき、学習意欲の向上が図れた。

地域の方との交流が深まった。

■ その他

今後、生徒と年齢が近い大学生等の学習支援員の確保に力を入れたい。



【 学習の様子 】

報告書記入者(教頭)

基礎・基本の定着をねらいとした学習支援

彦根市	活動名：放課後バックアップ教室	城西小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：ふれあいホール		開始年度：平成 24 年度	
年間開催日数：14 日(開催ペース：月1～2日)		地域学校協働活動推進員数：2人(兼務1人)	
平均参加人数：8人		学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

3、4年生の希望者(保護者同意のもと)を対象に、算数科の基礎的・基本的内容の定着に向け、個別指導を主とした教室を年間14回開催した。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

プリントやドリルの基礎的・基本的内容を基本とし、個別指導を主とした学習支援を行った。
教員も指導に入るにより、学校と地域が連携して教育を行う体制を組織することができた。

■ 事業の成果と今後の展望

児童に個別に対応することができたため、その児童がもつ困り感に寄り添いながらバックアップ教室を実施することができた。
児童が「分かる・できた喜び」を味わうことができたことにより、学習に対する苦手意識が少し軽減したように思う。

報告書記入者(教頭)

夏休みきらり学習教室 ～個別指導による学力補充学習～

彦根市	活動名：夏休みきらり学習教室	城北小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室		開始年度：平成 26 年度	
年間開催日数：3日(開催ペース：年3日)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：60人		学習支援員等 平均人数：15人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

実施日時：夏季休業中の3日間、(7月22日(火)、23日(水)、24日(木)のいずれも8時30分～10時00分まで)

目的：算数科を中心とした、個別の学力補充。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

算数科に絞り、個々の児童の苦手とする課題や児童が理解を深めたいと考える内容について、補充指導や問題演習を行った。

担任より個別指導が望ましいと考える児童の参加を中心とした。

近江高校の生徒に学習支援ボランティアをお願いした。

■ 事業の成果と今後の展望

地域の方々や近江高校生の協力のおかげで個別対応が可能となり、つまづきを的確に把握し、スモールステップできめ細かに支援することができた。本学習を通して、児童は「わかった!」「できた!」という思いを実感することができた。

また、年齢の近い高校生に丁寧に教えてもらったことで、学習への意欲を高めることができた児童も多いた。さらに充実した指導となるよう、学習支援員の確保に努めていきたい。



【 夏休みきらり学習教室の様子 】

報告書記入者(教頭)

子どもの自主的な学びと育ちを支える地域の居場所づくり

彦根市	活動名：学び育ちLL教室	中央中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 中地区公民館		開始年度: 平成 24 年度	
年間開催日数: 44 日(開催ペース: 週1日)		地域学校協働活動推進員数: 1人	
平均参加人数: 10 人		学習支援員等 平均人数: 10 人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

毎週月曜日の夜に地域の公民館で学習の補充を行った。自信をもたせ、自主的な学びへの動機づけや将来なりたい姿を見つけることをねらいとした。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1対1で学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切にして、子どものやる気を尊重した学びの場とした。固定した時間割は定めず、子どもの状況に応じて交流を目的とした活動を取り入れ、人間関係づくりも行った。

■ 事業の成果と今後の展望

個別の学力やモチベーションに合わせて学習を進めることで、主体的に取り組む場となった。また、個別の支援が必要な子どもや生活面での課題を抱えている生徒にとって、他者と関わったり自分を見つめたりする時間となり、地域での居場所となることができた。

■ その他

学校で使用する教科書の変更に伴い、対応できるように年度当初の教材整備に努めた。



【 学習の合間のクリスマス会 】

報告書記入者(教頭)

来てみる・やってみる

彦根市	活動名：土曜教室・てみる	中央中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 技術室		開始年度: 平成 26 年度	
年間開催日数: 7日(開催ペース: 月1~2日)		地域学校協働活動推進員数: 1人	
平均参加人数: 10 人		学習支援員等 平均人数: 8人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

子どもたちへの学習補助だけでなく、学習支援員との対話を通じて学びへの動機づけや、将来なりたい姿を見つけることをねらいとした。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1対1または1対2を基本として、学習支援員との関係づくりを大切にして進めた。また、子どもの学びたいこと(教科や内容)を各自で用意させることで、主体的な学習となるようにした。2時間の学習の最後には子どもと学習支援員との交流の時間を設定し、カードゲームや知育ゲームを一緒に行うことで、コミュニケーションを深めるとともに子どもの自尊感情を高めた。

■ 事業の成果と今後の展望

個別指導により、つまづきを的確に把握しながら学習支援を行い、基礎学力の定着を図ることができた。また、週休日の午前中に開催することで、生活リズムを整えたり、学習習慣の定着にもつながりやすくなった。

■ その他

毎回終了後には、地域学校協働活動推進員が中心となって学習支援員や学校関係者と集約会議を行い、子どもとの関わりの質の向上に努めた。



【 関係づくりグッズ 】

報告書記入者(教頭)

地域と学校がつながく、未来への学びの場 「水曜ゼミ」

彦根市	活動名：南中未来塾・水曜ゼミ	南中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：南中学校		開始年度：平成29年度	
年間開催日数：11日(開催ペース：週1日)		地域学校協働活動推進員数：2人(兼務1人)	
平均参加人数：20人		学習支援員等 平均人数：2人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

放課後学習「水曜ゼミ」(11～2月)は、3年生を対象に進路実現に向けて基礎的な学力を身に付けるために、プリントを使って学習している。基本、週に1回のペースで実施している。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

学習支援員は、教員や地域住民、近隣大学の学生が協力し、個別学習を支援している。水曜ゼミでは、県立入試問題集や国語・数学・英語の基礎プリントを活用し、生徒一人一人の学習課題に応じた指導を行うことで、学校・地域・大学が連携した学びの場を実現している。

■ 事業の成果と今後の展望

一人で家庭学習することが難しい生徒にとって、放課後の学習の場となり、学習支援員に積極的に質問するなど意欲的な姿が見られるようになった。一方、参加生徒数に対して学習支援員が不足する日があり、安定した人材確保が課題である。今後は校区内の大学と連携し、学習支援員を確保できる体制の構築を検討する。また、生徒用端末の活用についても、学習の質を高めるための取組を進めていきたい。



【 地域の方から学ぶ生徒の学習の様子 】

報告書記入者(教頭)

個に応じた学力補充教室（算数科を中心として）

彦根市	活動名：亀山学力補充教室	亀山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：亀山ホール		開始年度：令和2年度	
年間開催日数：5日(開催ペース：学期末)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：9人		学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

4～6年生を対象に、算数科の学力補充を目的とした学習教室を行った。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

担任や担当教員と連携を図り、個に応じた学習課題を把握し、問題演習や個別指導を行った。主に、当該学年以前のつまづきが見られる単元に絞り、児童自身が「わかってきた」、「できるようになった」と実感できることを大事にしながら学習を進めた。

■ 事業の成果と今後の展望

個に応じた学習支援ができ、学習意欲の向上につながった。

同じ町内で顔見知り程度だった地域の方が支援に来てくださり、交流する機会となった。本年度は、実施時期を懇談期間に設けたため、空いている午後の時間にゆとりをもって時間設定することができた。来年度もこの方向で実施していきたい。

■ その他

下校時刻が他の児童と異なり、少人数での実施のため集団で下校することができず保護者の送迎が必要になる。送迎ができない児童は教師が同行しているため、下校への教師の負担がある。



【 学習の様子 】

報告書記入者(教頭)

自ら学び、根気強くやりぬく生徒の育成を目指して

彦根市	活動名：彦根中地域未来塾	彦根中学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：被服室		開始年度：平成 29 年度	
年間開催日数：32 日(開催ペース：週2日)		地域学校協働活動推進員等数：2人	
平均参加人数：20 人		学習支援員等 平均人数：2人	
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他() ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他() ・学習支援員等の属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 ■大学生 □NPO 等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

毎日の授業だけでは十分に学力定着に結びつかない生徒も多く、学習習慣が定着していないことで、何を学習してよいのかわからない生徒も多数いる。そこで、地域の方々や大学生等の協力を得て、一人一人の学力に応じた学習を個別対応で進め、学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

夏季休業中の補充教室と質問教室は、全学年で5日間実施し、特別教室にて生徒の自主学習に対する支援を行った。3年生の放課後学習会では、10 月から毎週火・木曜日を基本にして、生徒が持参する学習教材に対する支援を、学習支援員と教員が行った。学習支援員については、昨年度も協力いただいております。本校の雰囲気も理解いただいた上で生徒とのつながりを持つことができている。また、新たに募集した地域ボランティアにも協力いただけた。



【 放課後学習会 】

■ 事業の成果と今後の展望

【事業の成果】学習支援員に積極的に質問するだけでなく、同じ机の生徒同士で教え合う姿も多く見られた。

【今後の展望】ICTを活用したボランティア登録制度を今年度より取り入れたが、学習支援員の十分な人数の確保には至っていない。次年度以降も登録制度以外の方策を考え、協力いただける人員の確保に努めたい。

■ その他

3年生の放課後学習会では参加希望者が多く、曜日別に参加者を分けて実施した。

報告書記入者(教頭)

できたを実感！ 九九マスター教室

彦根市	活動名：九九マスター教室	河瀬小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：2年生教室・少人数教室		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：10 日(開催ペース：週2日)		地域学校協働活動推進員等数：1人	
平均参加人数：94 人		学習支援員等 平均人数：1人	
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 ■その他(九九カード) ・教室の持ち方：□平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 ■その他(昼休み・掃除時間) ・学習支援員等の属性：□企業関係者 □行政職員 □元教職員 □地域住民 ■大学生 □NPO 等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

2年生児童のかけ算九九の定着を図る。

個別の学習支援。

プリントを採点する。

かけ算九九の定着を図る。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

本校に教育実習に来た地元在住の大学生に声をかけ、学習支援を依頼した。

2年生の最重要課題であるかけ算の九九は、次学年のわり算にもつながるので、しっかりと習得できるように、個別の進度に合わせて支援をしていただいた。

■ 事業の成果と今後の展望

従来は担任が1人で暗唱できているか確認をし、カードに合格シールを貼っていたが、担任と支援員の2人体制で聞くことができ、効率的に習得することができた。

子どもたちにとっても担任以外の先生に九九を聞いてもらえることで、よい緊張感の中で取り組むことができ、何度も挑戦する姿が見られた。

■ その他

今後も、学習補充教室以外にも、学年・教科・活動を特化して、学習支援をしていただく機会を模索していきたい。



【 九九マスター教室 】

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地域と学校を結ぶ鳥居本地域未来塾

彦根市	活動名：学力補充・質問教室	鳥居本中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：各教室		開始年度：平成24年度	
年間開催日数：12日(開催ペース：夏季休業中)		地域学校協働活動推進員数：4人	
平均参加人数：8人		学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

生徒の学力の補充を目的として、長期休業中に、学習支援員と教員と一緒に実施している。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

学力の補充が必要な生徒に、担当教員から参加勧誘の声をかけた。保護者にも学習支援員として協力していただけるよう、プリントを配布して募集を行った。

■ 事業の成果と今後の展望

生徒は、丁寧に分かりやすく教えてもらっていると好評である。
 地域の方も、中学生に学習を教えることで喜んでもらえる充実感がある。
 学習を通して、地域の方と中学生が交流できる。

■ その他

学習支援をしてくださる地域の方が、限定されている。学生の支援員がいないため、どのように確保するかが課題である。平日の放課後等の実施は、行事や時間設定、人員の確保等の面から、難しい現状にある。



【 学力補充教室 】

報告書記入者(教頭)

輝く笑顔 一人一人の「わかった！」をめざして

彦根市	活動名：夏休み国語算数教室	鳥居本小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：各教室		開始年度：令和2年度	
年間開催日数：3日		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：20人		学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

国語科・算数科の基礎基本の学力の定着を目的として、夏季休業中の3日間(7月22日(火)、23日(水)、24日(木))、いずれも、8時30分～10時20分まで実施した。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

基礎基本の内容に特化した補充指導や問題演習を行う。間違いやつまずきに個別に対応し、「わかった」を実感できるよう、きめ細かな支援をする。学習支援に参加いただいた地域の方から「できたな！」「すごいやん！」という声をかけていただき、次へと向かう姿が多く見られた。

■ 事業の成果と今後の展望

学習そのものに苦手意識があり、基礎基本の積み上げが困難な児童が参加しているため、スモールステップの学習活動を仕組み、褒め認める言葉かけにより成就感や達成感を実感できるよう支援した。その結果、一つひとつを積み上げることの大切さに目を向ける児童の姿も見られた。

2学期からの学習につながることを考えると、基礎基本の徹底が重要となる。九九の習得を第一として、その習得が自信につながる機会としたい。また、よりきめ細かな対応が充実するよう、支援いただける方の確保に努めたい。



【 個別の学力補充 】

報告書記入者(教頭)

生徒と指導者、生徒同士で教え合い、学び合う態度を培う学習塾

彦根市	活動名：地域未来塾	稲枝中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：多目的室、図書室		開始年度：平成28年度	
年間開催日数：21日(開催ペース：週1・月4日)		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：14人		学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

中学3年生の受験対策、塾等に行かない生徒の学力補充。基本的な課題をドリル形式で学習し、方法のわからない生徒に寄り添いながら指導を行う。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

回を重ねるごとに、講師に質問をする生徒が増え、未来塾そのものを待ち遠しく感じてくれるようになってきた。気軽に質問したり、日頃の悩みを話してくれたりする。

■ 事業の成果と今後の展望

午後3時開始ではあるが、20分前ぐらいには多くの生徒が集まり、自主的に学習を進めるようになった。

教員不足から退職後も学校現場で働く方が多いので、学習支援員講師を探すことに苦労する。大学に依頼するが、なかなか支援員を確保することが難しい。



【 学習風景 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動「かがやき教室」

彦根市	活動名：かがやき教室	稲枝東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：音楽室		開始年度：(平成)30年度	
年間開催日数：11日(開催ペース：月1, 2日)		地域学校協働活動推進員等数：1人	
平均参加人数：25人		学習支援員等 平均人数：5人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

4・5年生の児童を対象に、9月から1月を期間として月に1, 2回程度の学力補充の時間を計画した。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

・児童は、自分の課題に合った学習課題に取り組み、学習支援員は児童の困り感や質問に応じて、個別の学習支援を行った。教員は丸付けを中心にを行い、学習支援員が児童とのかかわりをより多く持てるように心がけた。

・担任からの聞き取りをもとに、事前に児童がつまづきを感じている学習内容を何種類か選び、プリントを作成する。



【 学習支援の様子 】

■ 事業の成果と今後の展望 ■ 活動の概要と目的

・担任からの聞き取りをもとに学習プリントを絞り準備したことで、苦手な内容の克服に一定の成果が見られた。

・少人数のよさを生かして個に応じた支援を行うことができたが、人数が増えるとその効果がやや弱くなる。人数を考慮していくことが必要。

・年間を通して個人の成長を記録し、どのように個に応じた支援につなげていくかが今後の課題である。

■ その他

本校の取組について、日々の学校生活の様子と併せて稲枝東小学校ホームページにて紹介しています。

<https://www.fureai-cloud.jp/inaehigashi-hikone/>

報告書記入者(地域連携担当教職員)

わくわく はえみ学習

彦根市	活動名：ホップタイム	稲枝西小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室		開始年度：令和2年度	
年間開催日数：5日(開催ペース：月1日)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：21人		学習支援員等 平均人数：6人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

確かな学力の定着と苦手な学習内容の復習

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1クラスに1~2名の指導者を配置した。課題は学習内容に合わせて難易度を分けて用意したり、教科書、ドリルの問題を使用したりした。学年の学習内容やテストに合わせて学習課題を準備することで、子どもたちも目標をもって取り組むことができた。

また、学級での既習内容について確かめたり、振り返ったりすることもできた。

■ 事業の成果と今後の展望

1クラスに支援員を2名配置することで、充実した個別学習支援をすることができた。また、子ども同士で教え合ったり、励まし合ったりする場面も見られ、難しい問題でも自分の力で最後まで取り組もうとする粘り強さが育っている。

学期ごとの日程調整や内容確認を早めに行ったことで、計画的に取り組むことができた。

■ その他

元教員の方が多く、一人ひとりにきめ細やかなサポートをしていただくことができた。ホップタイムによって自信をもつ子どもの姿を通して、地域の力に支えられていることを改めて実感した。



【 ホップタイム 】

報告書記入者(地域連携担当教職員)

「できる・分かる」楽しさと喜びを味わわせ、子どもたちの学意欲を高める

彦根市	活動名：ぐんぐんクラブ	稲枝北小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：2年教室、4年教室		開始年度：平成27年度	
年間開催日数：16日(開催ペース：週2日)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：6人		学習支援員等 平均人数：2人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

少人数による個別指導で「できた・わかる」楽しさと喜びを味わわせ、児童の学ぶ意欲を高めることができるようにする。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

課業日の月曜日(1~3年)水曜日(4~6年)、学期ごとに参加児童を募集し、定員を6名程度までとして学習支援ボランティアによる指導を行う。算数科を中心に宿題をしたり、個に応じた課題(プリント等)を準備して実施したりして個別の進度で学習を進める。

■ 事業の成果と今後の展望

学習に苦手意識のある児童、集団の一斉学習では学習内容の習得が困難な児童への個別支援が充実した。分からないことをその場ですぐに聞いたり、やり直したりすることで、「できる・わかる」という実感をもたせることができた。また、個別に復習等に取り組むことで理解が進み、児童の学習意欲も高まった。

■ その他

地域学校協働活動推進員の尽力により、現在の学習支援者に関わってもらっているが、今後の人材確保が課題となっている。

報告書記入者(教頭)



【 ぐんぐんクラブ(下学年) 】